

解 答

【1】 (1) D→C→B→E→F→A

(2) イ

(3) 不整合面

(4) 年代 イ 生物 ク

【2】 (1) イ

(2) ア

(3) ア

(4) ギョウカイ岩

(5) イ

【3】 (1) E・F

(2) E

(3) C

(4) イ

(5) エ・オ

【4】 (1) ウ

(2) 120

(3) イ

(4) A イ B エ

(5) 360

【5】 (1) 40

(2) 35

(3) 20

(4) 80

(5) 10

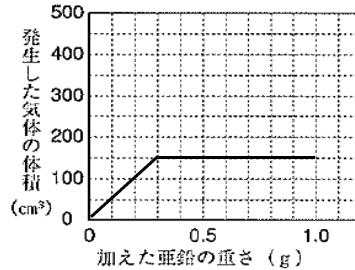
【6】 (1) 水上置換法

(2) ア・エ

(3) 右図①

(4) イ

(5) 140



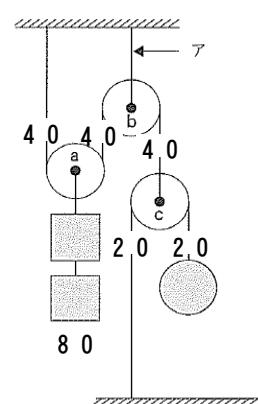
(図①)

解 説

【5】 (1) 図1の輪軸がつり合っているから、■×25=50×20となり、■=40g ($\frac{50 \times 20}{25}$) です。(2) 図2の輪軸がつり合っているから、(■+▲)×20=60×25となり、(■+▲)=75g ($\frac{60 \times 25}{20}$) となります。したがって、▲=35g (75-40) です。

(3)・(4) (図②) のように力が加わります。したがって、●=20g, アに加わる力の大きさは80g (40+40) となります。

(5) (図②) で80gを120gとして考えます。したがって、cの滑車の右側には30gの力が加わるので、10g (30-20) のおもりをつるせばつり合います。



(図②)

【6】 (3) 図2のグラフから、塩酸(A液)100cm³で0.4gの亜鉛が反応して200cm³の水素が発生することがわかります。したがって、A液75cm³では、亜鉛が0.3g ($0.4 \times \frac{75}{100}$) 反応し、水素が150cm³ ($200 \times \frac{75}{100}$) 発生します。(5) (4)からA液とB液は1:2で完全中和することがわかります。したがって、A液100cm³とB液60cm³ではA液70cm³が残り、水素が140cm³ ($200 \times \frac{70}{100}$) 発生します。